

決 裁	議 長	局 長	参 事	

受付

報 告 書

平成26年 月 日

湯前議会議長 山下 力 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成26年10月31日（金）
場 所	湯前町 ゆのまえ温泉湯楽里「大広間」
目 的	上球磨町村議会議員研修会及び交流会

報 告 の 内 容	<p>◆研修概要</p> <p>演題：地域活性化の戦略 ～観光農業成功の極意～</p> <p>講師：観光カリスマ 観光カリスマ工藤事務所 工藤順一 氏 ※観光カリスマ百選</p>
	<p>◆研修内容</p> <p>1. 地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源に魅力、自慢、自信を持つこと。 名物、人物、名声などの話題を持つ。 <u>情報発信</u>が大切 ・地域資源を歩いて、見て、耳を傾けて、知ること。☆情報収集を五感で捉える 人の声（県外・町外）を聞く。 <u>住民・お客様とのコミュニケーション</u>が大切。 目線を低く、笑顔で明るく対応する。 消費者のニーズを把握 語りかけるように喋る。

2. 工藤先生に映る湯前町

- ・人が温厚、自然が豊か、寒くない、温泉もある、何不自由ない地域。

3. 「企画力」「決断力」「実行力」の三つが成功の絶対条件

- ・議会であれば、議員が首長の背中を押す。
- ・熱意、努力、頑張りで辛抱強く続ける。
- ・地域を売って、自分を売る。

4. 付加価値をつける

- ・安全、安心、健康、遊び心と参加型、農産物データなど
- ・「儲かる」とは？ → 「人」「言葉」「者（物）」
これらがつながることが経済効果
「人」「言葉」の交流がコミュニケーション

5. 発想の転換（創意と工夫）

- ・固定観念、先入観（過去の事例）を無くす。
- ・新風（挑戦）
- ・障害は必ずある。 → 敵を味方へ
根拠と努力と粘り
信頼の積み重ね → 信用
- ・後ろを振り返らない。（例. とんぼ）
- ・考え方一つ（アイデア） → 頭の使いよう
- ・知恵 → 智慧文殊（「三人寄れば文殊の知恵」で有名な文殊菩薩）
そろばん勘定ではダメ。人間感性が大切 ☆机上ではなく現場

6. 観光の重要ポイント ～ 魅力の察知

- ・消費者が今求めているものは“本物”であること。
安全安心、健康
- ・人脈・地脈
- ・夢とドラマ
- ・季節感 → 体験・体感・実感・共感
- ・地産地消、旬産旬消
- ・独自性（他の市町村にないもの）
- ・着地型観光
石ころでも雑草でもいいので、地域にお金を落してもらおう。
“草むしり”も「七草摘み」として都会の人に楽しんでもらっている。
- ・人の使い方
- ・知的財産、商標登録
- ・地域資源
風刺まんが、まんが館 ～ 町長室にもお宝あり
おっばい神社、おっばい祭り
周りの人達が賞賛しないとダメ

【感想】

今回の講演は、地域活性化だけでなく、議会活性化にもつながる話であった。
発想の転換、コミュニケーション、情報発信、そして何より「地域を売って、自分を売る」ことに共感した。

現場の声を大切にしながら、今後のまちづくりに活かしていきたい。